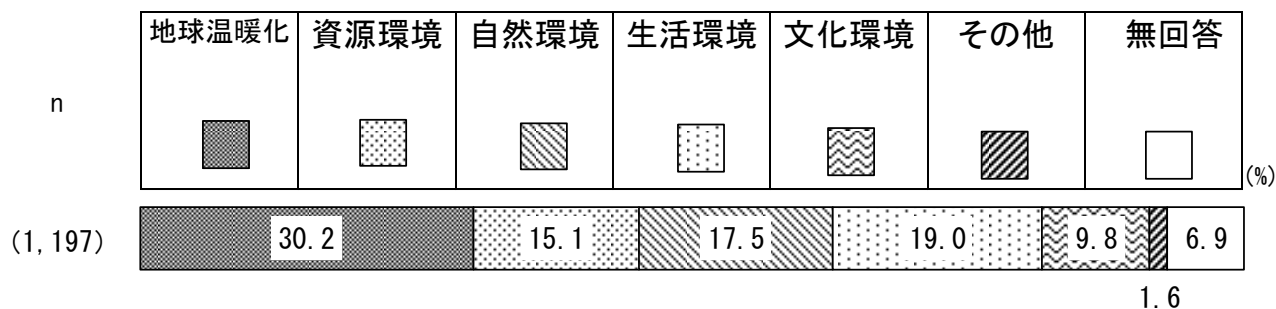


8 環境について

(1) 環境についてあなたが最も関心のある項目

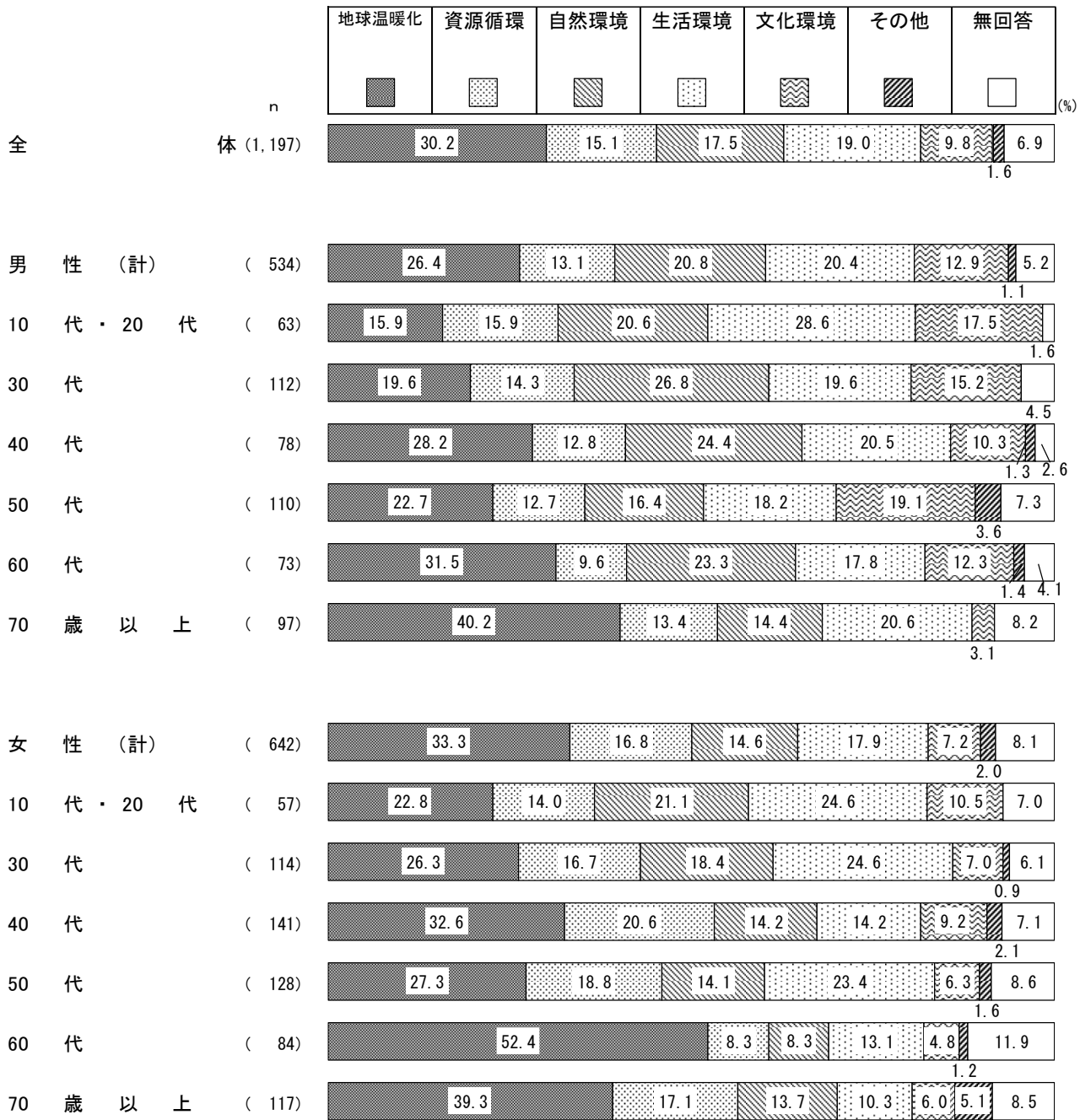
問 16 (すべての方に) 環境について、あなたが最も関心のある項目を選んでください。
(○は1つ)

【環境についてあなたが最も関心のある項目 (全体)】



全体でみると、「地球温暖化」が30.2%で最も高く、次いで「生活環境」(19.0%)、「自然環境」(17.5%)、「資源環境」(15.1%)、「文化環境」(9.8%)となっている。

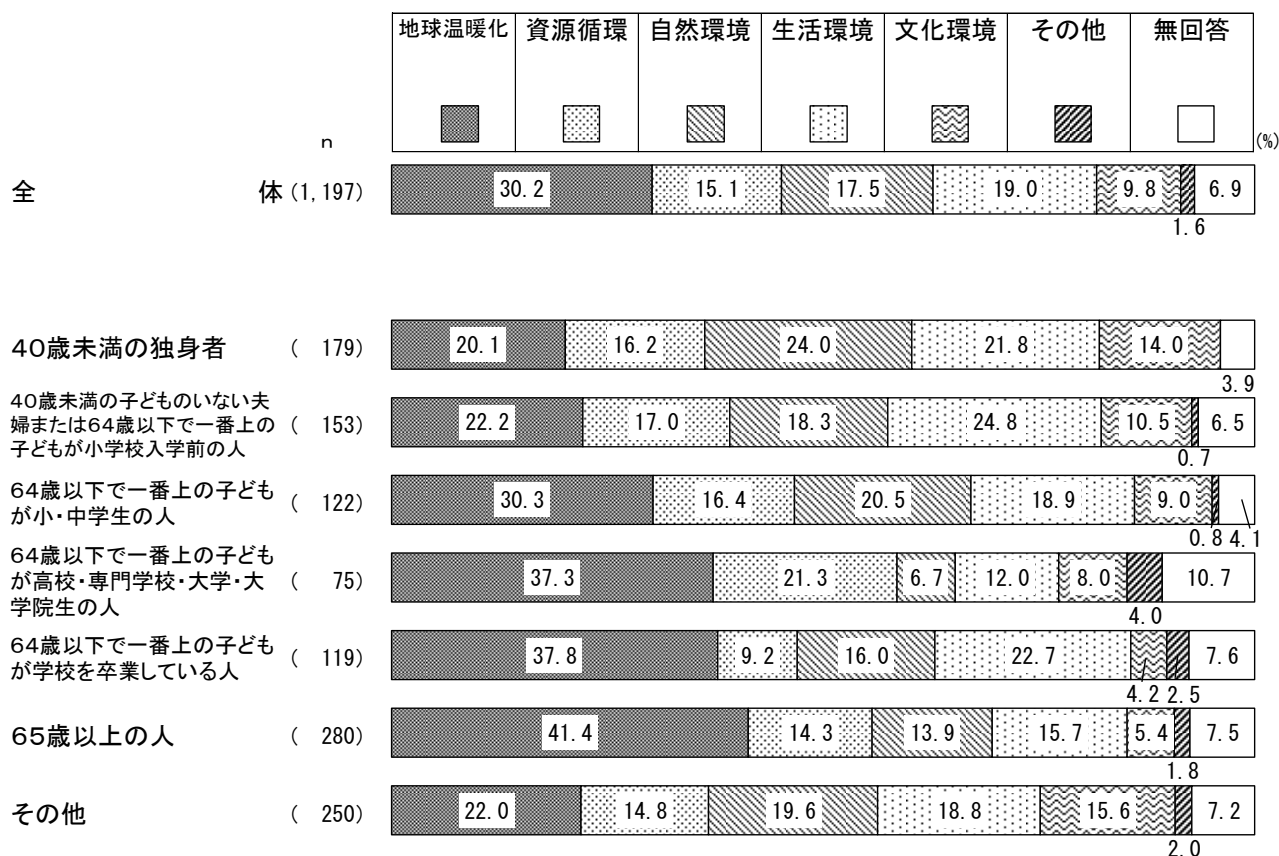
【環境についてあなたが最も関心のある項目（性／年代別）】



性別にみると、「地球温暖化」（男性 26.4%、女性 33.3%）で 6.9 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「地球温暖化」は女性 60 歳代（52.4%）で最も高くなっている。

【環境についてあなたが最も関心のある項目（ライフステージ別）】

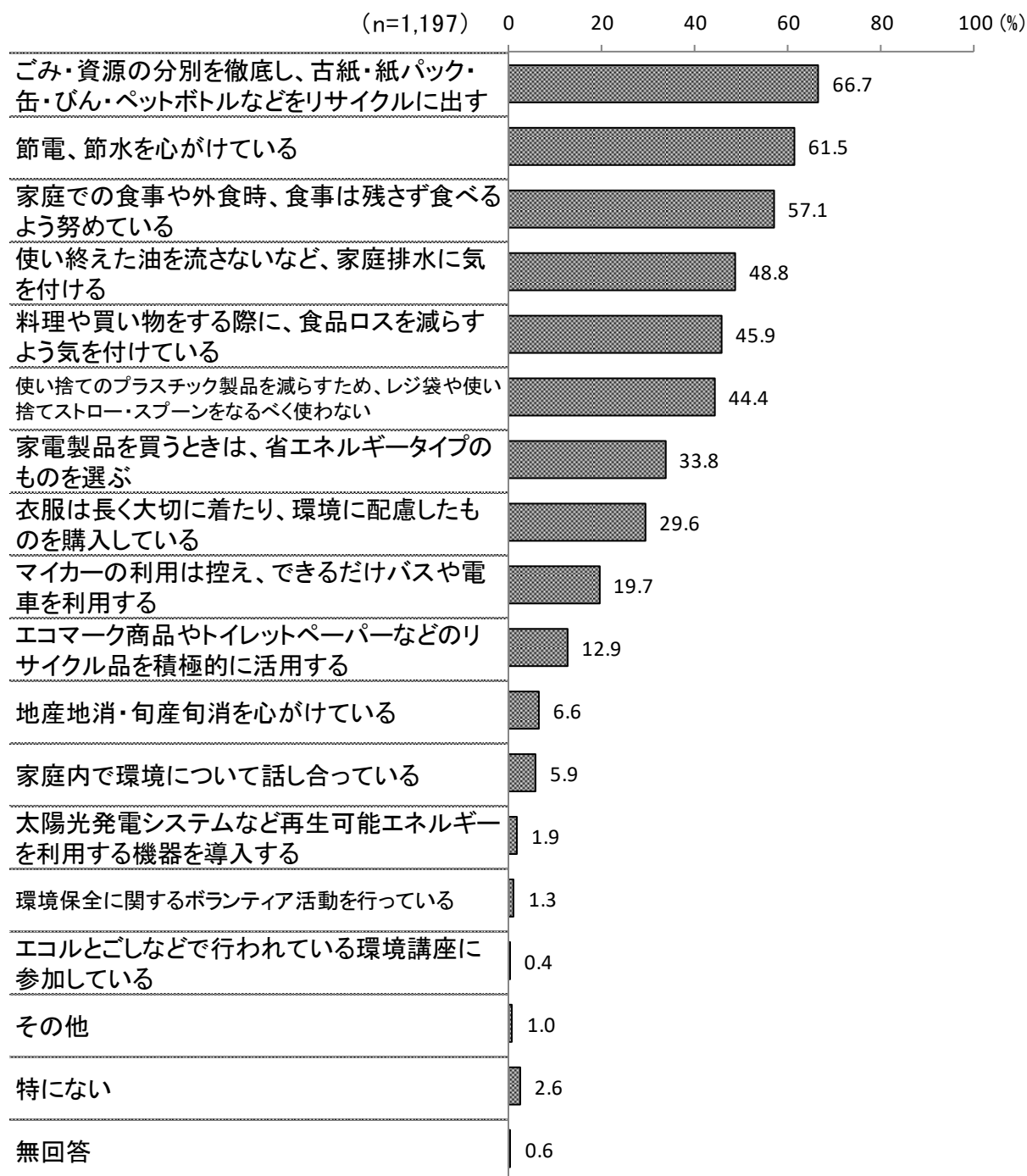


ライフステージ別にみると、「地球温暖化」は“65歳以上の人”（41.4%）で最も高くなっている。

(2) 環境を守るために日常生活で心がけていること

問 17 (すべての方に) あなたの家庭では、環境を守るために日常生活で心がけていることがありますか。(〇はいくつでも)

【環境を守るために日常生活で心がけていること (全体)】



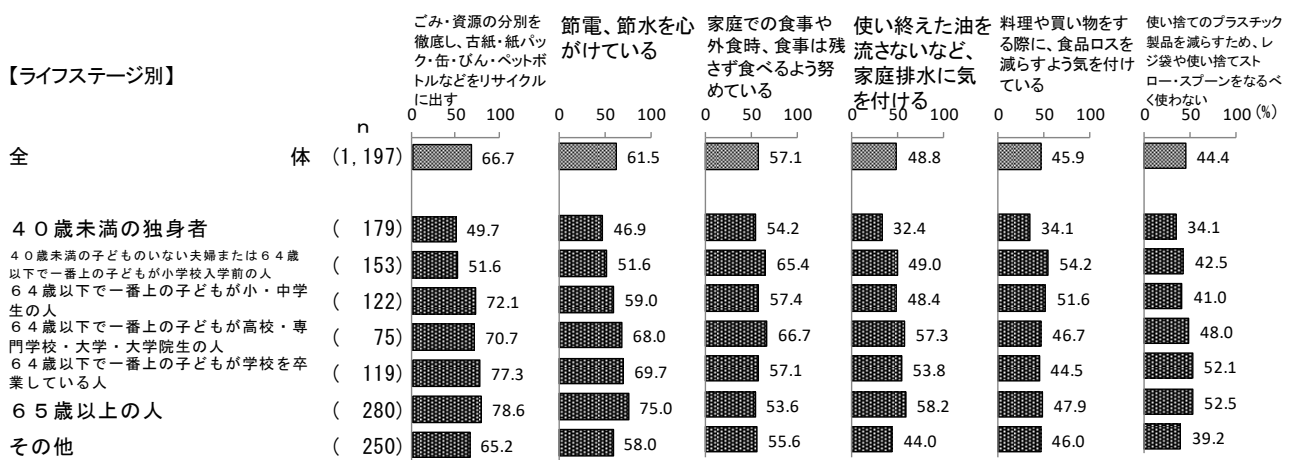
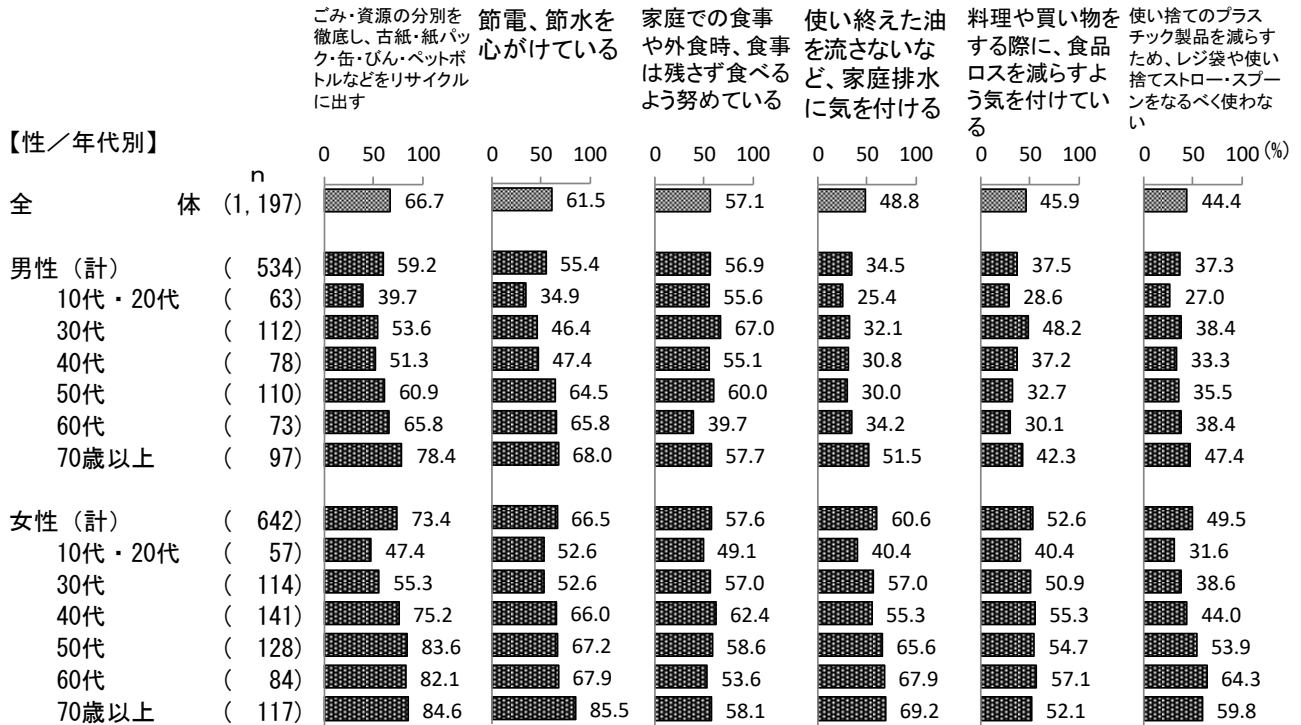
全体でみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が 66.7% で最も高く、次いで「節電、節水を心がけている」(61.5%)、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」(57.1%) の順となっている。

(%)

ライフステージ別にみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」は“65歳以上の人”（78.6%）で最も高くなっている。

【環境を守るために日常生活で心がけていること（性／年代別、ライフステージ別）】

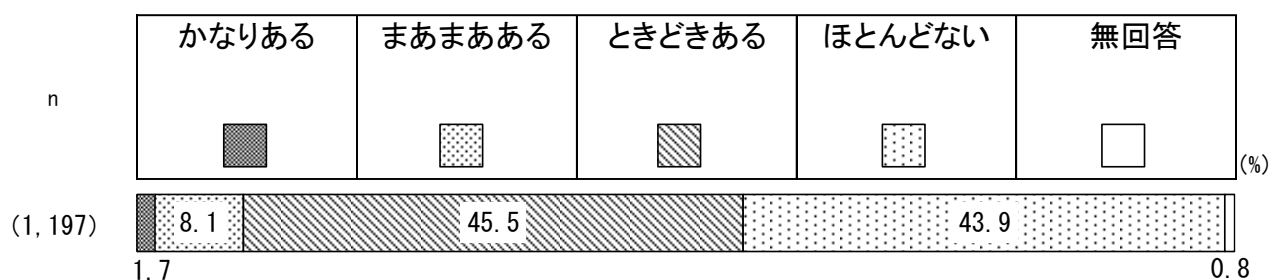
ー上位6項目



(3) 家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験

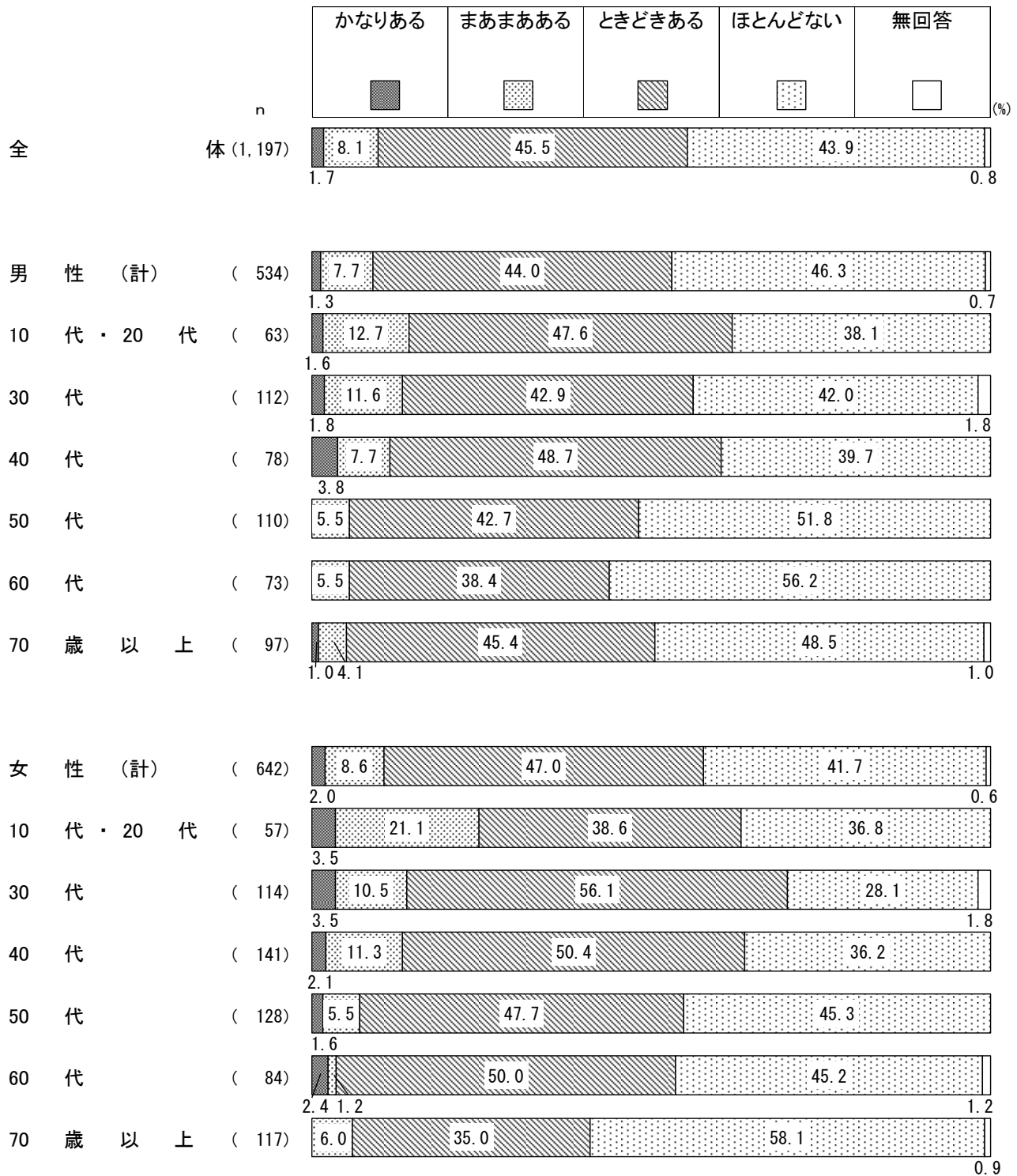
問 18 (すべての方に) 賞味期限切れや食べ残し、調理過程での過剰除去などにより、まだ食べられる食品が捨てられてしまうことがあります。あなたの家庭においても、食べられる食品を捨ててしまうことはありますか。(○は1つ)

【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験 (全体)】



全体でみると、「かなりある」が 1.7%、「まあまあある」が 8.1%、「ときどきある」が 45.5%となっている。一方、「ほとんどない」は 43.9%となっている。

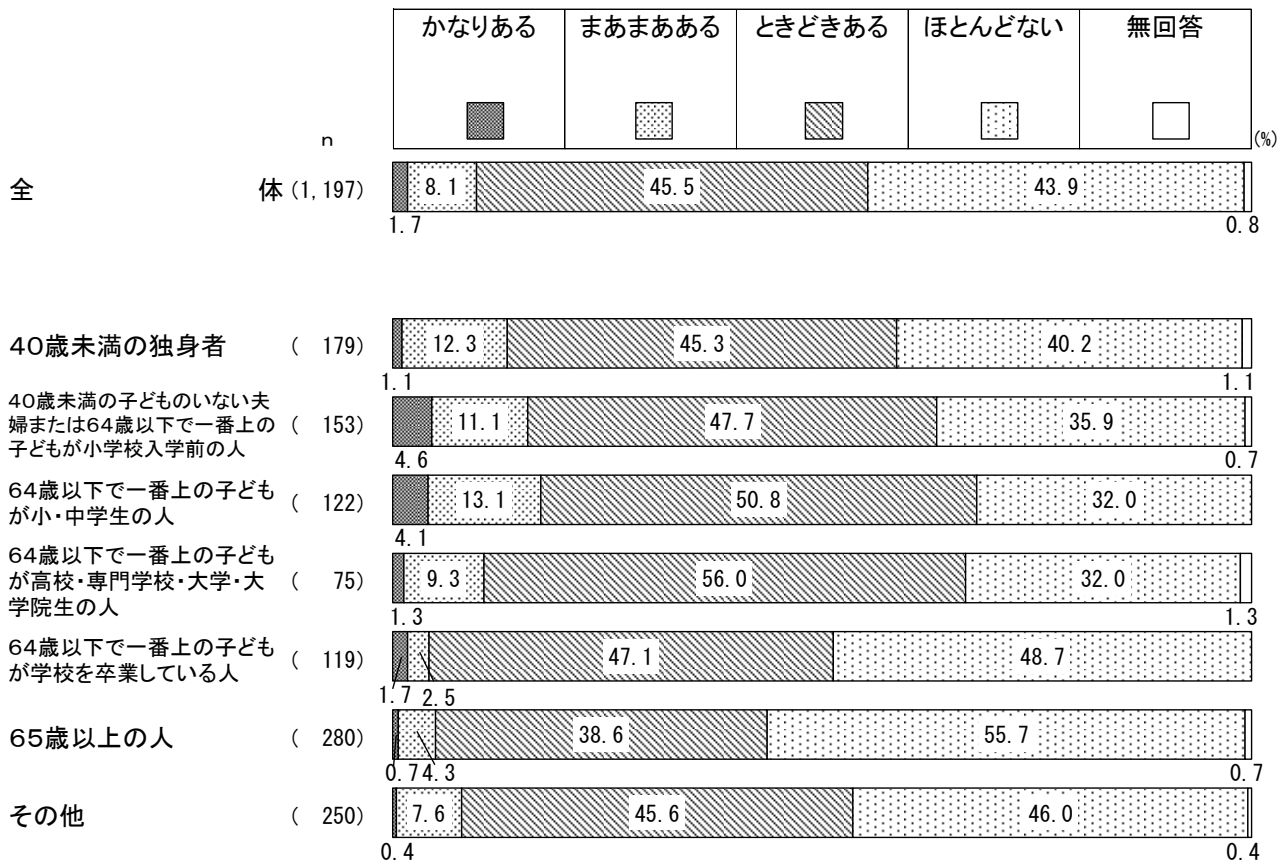
【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験（性／年代別）】



性別にみると、「ほとんどない」（男性 46.3%、女性 41.7%）で 4.6 ポイント、女性より男性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「まあまあある」は女性 10 代・20 代（21.1%）で、「ときどきある」は女性 30 代（56.1%）で、それぞれ最も高くなっている。

【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験（ライフステージ別）】

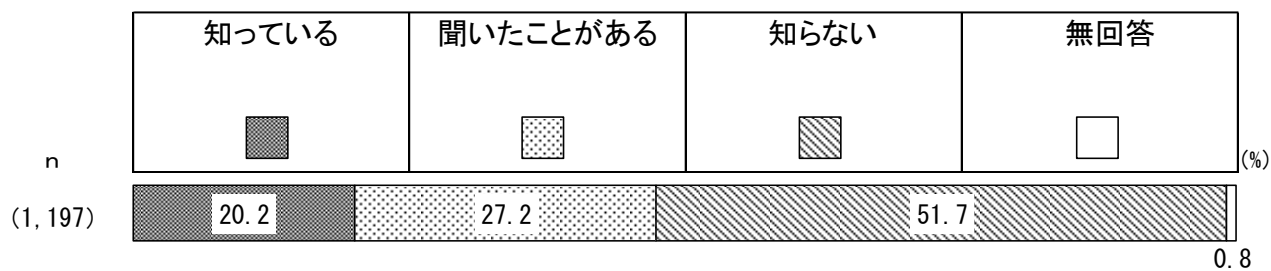


ライフステージ別にみると、「ときどきある」は“64歳以下で一番上の子どもが高校・専門学校・大学・大学院生の人”（56.0%）で、それぞれ最も高くなっている。

(4) フードドライブの認知度

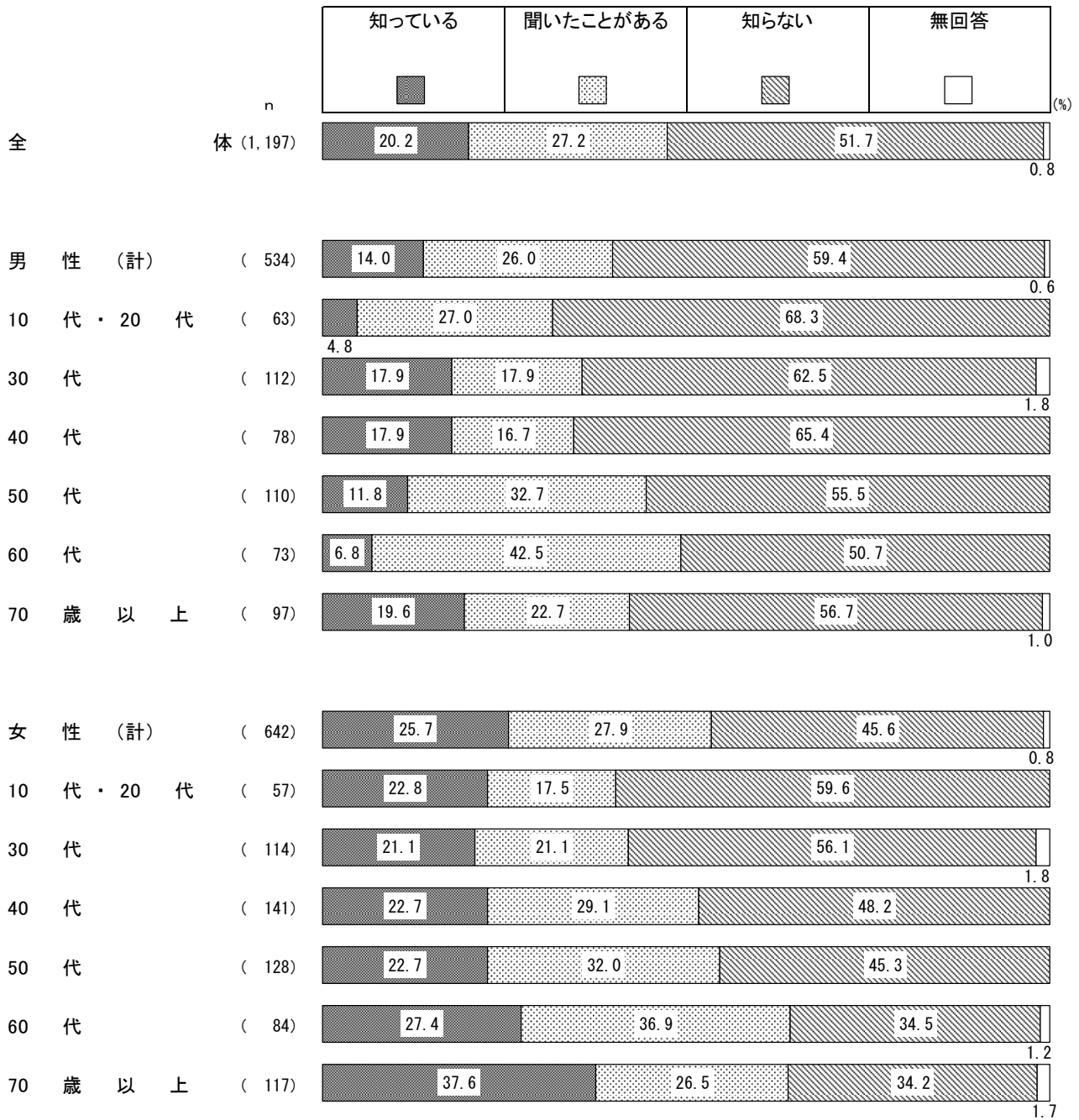
問 19 (すべての方に) 使い切れない食品を寄付する行動をフードドライブといいます。
あなたは、フードドライブを知っていますか。(〇は 1 つ)

【フードドライブの認知度 (全体)】



全体でみると、「知っている」が 20.2%、「聞いたことがある」が 27.2%、「知らない」が 51.7% となっている。

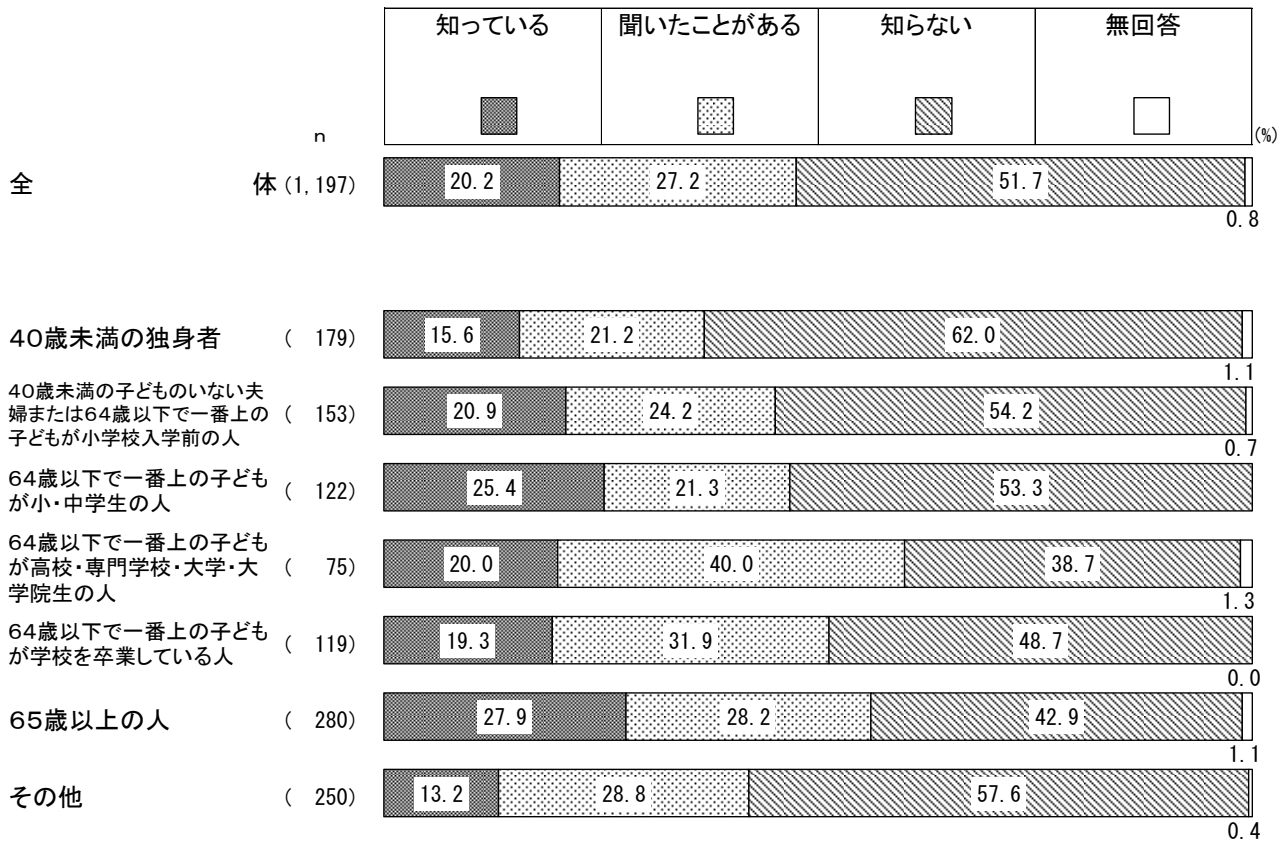
【フードドライブ認知度（性／年代別）】



性別にみると、「知っている」（男性 14.0%、女性 25.7%）で 11.7 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「知っている」は女性 70 歳以上（37.6%）で、「聞いたことがある」は男性 60 代（42.5%）で、それぞれ最も高くなっている。

【フードドライブ認知度（ライフステージ別）】



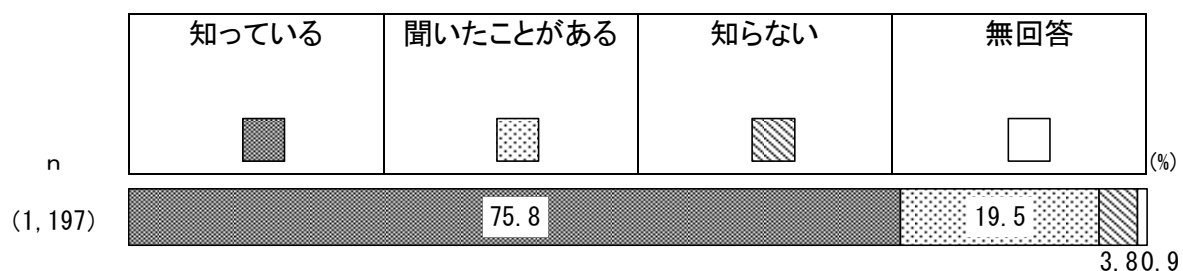
ライフステージ別にみると、「知っている」は“65歳以上の人”（27.9%）で最も高くなっている。

(5) 海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度

問 20 (すべての方に) 適切に処理されず、河川などを通じて海へ流れ込んだプラスチックごみを「海洋プラスチックごみ」といいます。近年、「海洋プラスチックごみ」による海洋汚染や生態系への影響が懸念されており、世界的な課題となっています。

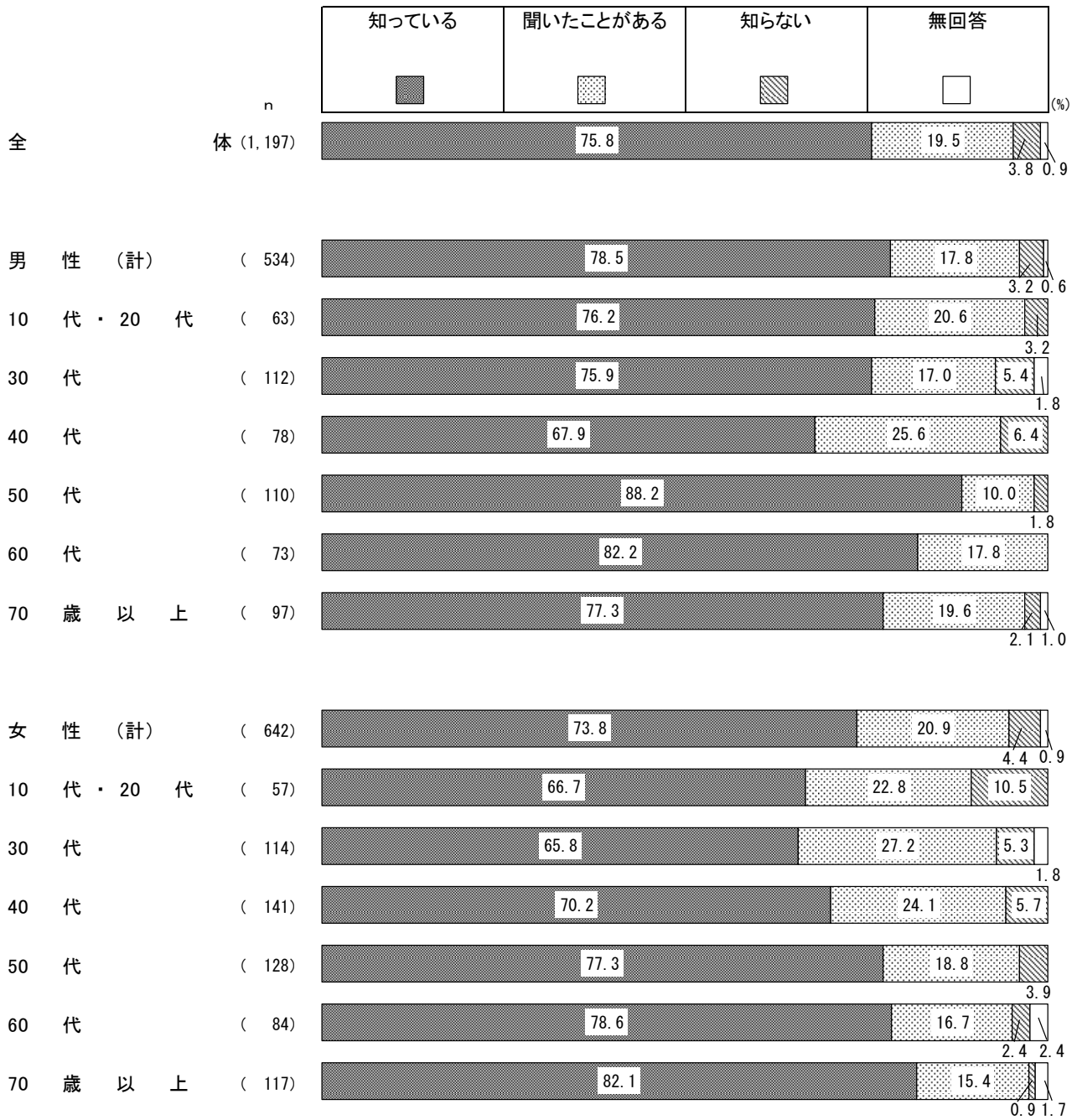
あなたは「海洋プラスチックごみによる環境汚染」を知っていますか。(○は1つ)

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度 (全体)】



全体でみると、「知っている」が 75.8%、「聞いたことがある」が 19.5%、「知らない」が 3.8%となっている。

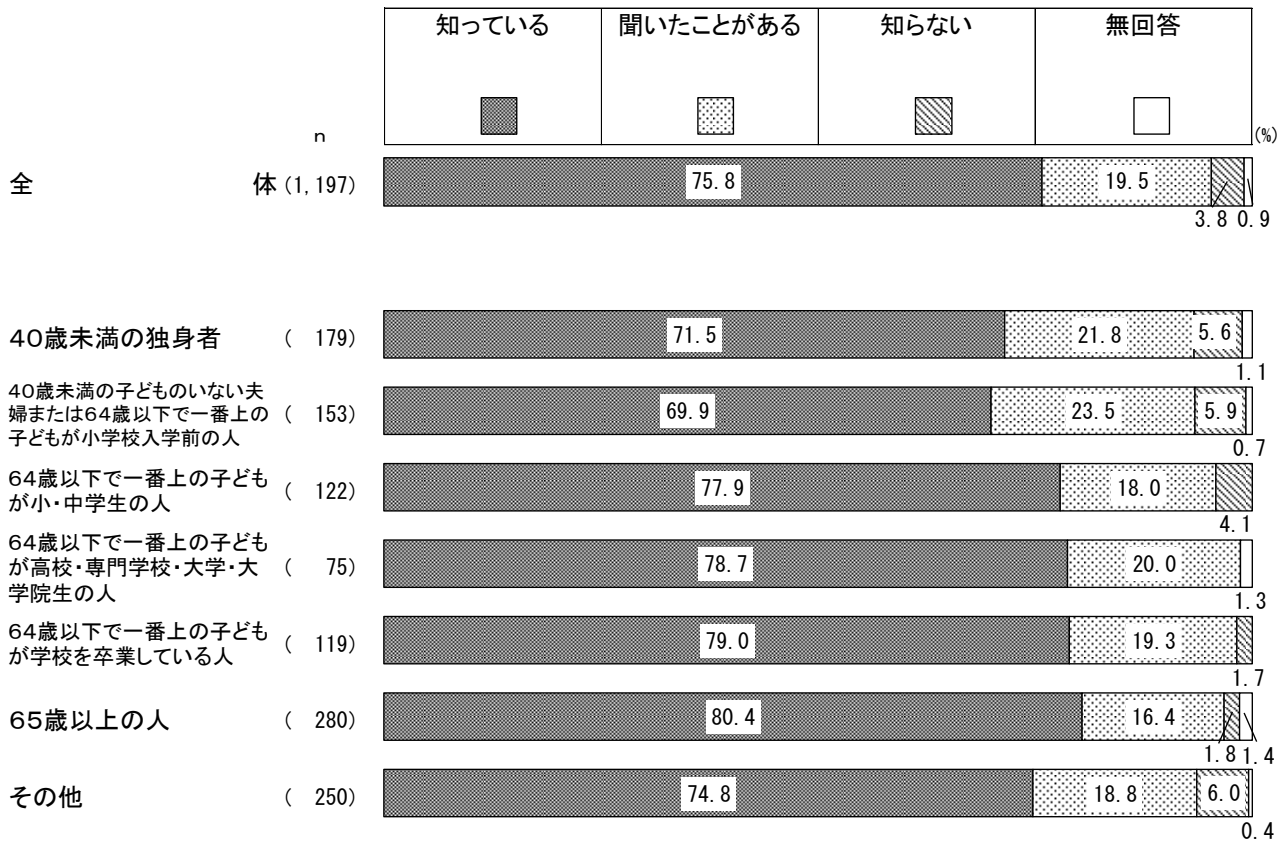
【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（性／年代別）】



性別にみると、「知っている」（男性 78.5%、女性 73.8%）で 4.7 ポイント、女性より男性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「知っている」は男性 50 代（88.2%）で最も高くなっている。

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（ライフステージ別）】



ライフステージ別にみると、「知っている」は“65歳以上の人”（80.4%）で最も高くなっている。